

国立大学法人の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の追加認定について

1. 概況

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」（以下「戦略・意欲」）として、6法人から以下のとおり18件の中期計画について追加（継続）申請があった。

各法人の申請調書では、新たに「戦略・意欲」への認定を希望する中期計画としては、平成29年6月に指定国立大学法人に指定されたこと（東北・東京・京都）や、「世界トップレベル研究拠点プログラム（WP I）」に採択されたこと（金沢）に伴い変更・追加する中期計画が挙げられている。

また、既に「戦略・意欲」に認定されている中期計画のうち、法人の機能強化に向けて更に具体的な計画とするための変更を行うものについて、継続認定の申請がなされている。

	申請法人数	ユニット数	中期計画数	全中期計画数
今回申請分（新規）	3	14	11	6,085
〃（継続）	5		7	
既認定分	84	285	725	6,080

2. 認定申請があった中期計画の具体例

（1）指定国立大学法人への指定に伴い中期計画の追加・変更を行う例（新規）

京都大学

ユニット名：京都大学の強みを活かした世界を先導する最先端研究及び人文・社会科学
研究の再構築に向けた国際化の推進

中期計画：（中期計画の追加）基盤的、先端的、独創的及び学際的研究を推進する。
特に、再生医療分野と医学生物学分野、化学と生命科学との融合分野では、
世界を先導する最先端研究を推進し、国際的に評価の高いジャーナル
（Top5%）に掲載される大学全体の論文数を、第3期のいずれかの年にお
いて800篇を達成する。

また、我が国の人文・社会科学研究の再構築に向け、一層の国際化を推
進する。特に、京都の文化や日本の思想に強い関心を持つ世界中の学生や
研究者との交流を促進するとともに、その支援を充実させる。

（2）法人の機能強化に向けて中期計画の変更を行う例（継続）

筑波大学

ユニット名：研究システム改革による世界トップレベルの最先端研究の展開

概要：研究センターの改組・再編・集約など既存の研究システムを大胆に改革し、
真理を深く探究する研究（基盤研究、学際横断型研究）と社会還元型研究
の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。

中期計画：(中期計画の変更(下線部)) 基幹基礎研究、学際横断型研究、大学の戦略に基づく研究をバランスよく進めるとともに、各研究組織に対する支援や権能付与を全体として整合的でしかも評価に基づくものとするため、研究センターの改組・再編・集約のための見直し結果を踏まえ、学内の研究組織を学術的な先端研究センターと開発研究センターに大別し、学術的な先端研究センターについては5年ごとに評価を実施し段階認定(4段階(R1～R4))を行う仕組みを導入する。(中略)

R1：世界級研究拠点

R2：全国級研究拠点

R3：重点育成研究拠点

R4：育成研究拠点(リサーチユニット)

<KPI：平成28年度までにすべての研究センターの改組・再編・集約計画を策定し、当該計画に基づき改組再編集約を順次実施。各研究センターに対する支援の内容・水準と各研究センターに付与される学内権能が、各段階に相応し、しかも全体として整合的であるように、平成30年度までに整理し、ルール化を実施。>

3. 認定にあたっての作業方針

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の認定にあたっては、以下(A)～(C)に掲げる要件に合致するかを確認するとともに、原則として各法人の申請内容を最大限尊重するものとする。

(A) 法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの

(B) 取組の重要性を踏まえ、かなり高い数値目標を掲げて取り組むもの

(C) 法人の機能強化に向けて法人の強み・特色を一層強化するため、重点的な資源の再配分を行い、具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの

※ 以下に示すようなケースに該当する場合は、(A)～(C)に掲げる要件に合致しないものとして、認定の対象外とする。

- ① 当該中期計画を戦略性が高く意欲的であると法人が考える理由が判別できないもの
- ② 既に多くの国立大学が取り組んでいる、又は取り組もうとしている事柄・取組に関する中期計画で、特にどのような点が認定の方針A～Cに該当すると考えているのかが示されていないもの
- ③ 法人が戦略性が高く意欲的であると考えられる取組・事柄の具体的な内容が不明であり、認定の方針(A～C)に該当するかの判断が困難であるもの

4. 留意点

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」については、達成状況のみを評価の対象とするのではなく、その状況にいたるまでのプロセスや内容を評価することとしていることや、今回申請があった「理由」に具体的な取組や達成指標等を記載しているケースがあるため、前回同様、今回認定する「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の評価にあたっては、「理由」に記載されている取組や達成指標も併せて考慮する。